

夢をかなえるセンターで提供している
ボランティアや留学についてまるわかり!

2023年度

Sagami チャレンジプログラム シラバス



「活動に興味はあるけど詳細や参加
方法がわからない…」
「どこで活動の情報を入手できる
の?」
「学内で活動する時に利用できる
場所は?」
知りたいことがわかる
「Sagami チャレンジプログラム」
徹底ガイドブックです。

「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」の学生



相模女子大学・相模女子大学短期大学部
夢をかなえるセンター 連携教育推進課

夢をかなえるセンター特設サイト

夢をかなえるセンターで行う社会貢献活動や
国際教育について、情報を発信しています。
<https://ymkn.sagami-wu.jp>



相模女子大学・相模女子大学短期大学部

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 TEL 042-742-1411(代表) / 小田急線相模大野駅下車徒歩10分
〈大学院〉栄養科学研究科 栄養科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)・社会起業研究科 社会起業専攻(専門職学位課程) 〈大学〉[学芸学部]日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション
学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科 [人間社会学部]社会マネジメント学科・人間心理学科 [栄養科学部]健康栄養学科・管理栄養学科 〈短期大学部〉食物栄養学科
<https://www.sagami-wu.ac.jp/>

問合せ先

夢をかなえるセンター 連携教育推進課 社会連携推進室
TEL 042-813-5038 FAX 042-747-9599 renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp

2023年4月発行

本冊子の利用方法

「Sagamiチャレンジプログラム」について知りたい

社会貢献活動や国際教育活動に興味があり、詳細について詳しく知りたい方におすすめの一冊です。本冊子では「Sagamiチャレンジプログラム」のシラバスを掲載しています。シラバスとは、「Sagamiチャレンジプログラム」において扱われる正課外活動の形態・目標・期間・計画などを活動の概要として示したものです。自分の気になる活動を見つけて、参加してみましょう。

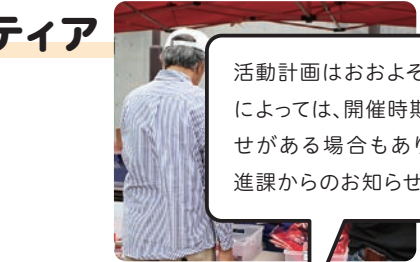
シラバスの見方

ノジマステラ試合運営ボランティア

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	－	都度参加
活動フィールド	参加費の目安	
神奈川県・相模原市 ほか	－	

活動の到達目標	
相模原市内にある、相模原ギオンスタジアムを主な活動フィールドとして試合運営のボランティアを行います。ボランティアには相模女子大学の学生だけではなく、様々な年齢・職業の方が参加します。様々な人とコミュニケーションを取りながら地域や社会、スポーツ振興に貢献することで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。	

活動の概要
女子プロサッカーチーム「ノジマステラ神奈川相模原」のホームゲームにおける運営ボランティアスタッフとして年間を通じて活動します。来場者の受付や誘導、グッズ販売等の運営を補助し、チームの勝利に貢献することができます。毎年1回、選手との交流会などがあります。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画はおおよその目安となります。年度によっては、開催時期の遅れや開催の見合わせがある場合もありますので、連携教育推進課からのお知らせを確認してください。

活動計画	
2022-23シーズン	募集説明会
4月	募集説明会
～6月	(都度)試合運営ボランティア
2023-24シーズン	募集説明会
9月	募集説明会
10月～6月	(都度)試合運営ボランティア

職員からのメッセージ
相模原市のサッカーチームとの活動です。初めて社会貢献活動へ挑戦してみたい、と考えている方も気軽に挑戦できるボランティア活動ですので、新たなことへ挑戦してみたい方、積極的になりたい方、ぜひご参加ください。

協働する方からのメッセージです。
職員：連携教育推進課職員です。
プロジェクト学生：活動経験のある先輩学生です。

活動情報の収集方法や利用可能な設備について知りたい

夢をかなえるセンター 連携教育推進課前には、ラーニングコモンズがあります。そこでは、「Sagamiチャレンジプログラム」の活動情報を収集することができ、更にはミーティングのスペースとしても利用可能な設備が整っています。積極的に活用してください。

目次

1.「Sagamiチャレンジプログラム」について P4,5

2.「Sagamiチャレンジプログラム」シラバス P6～32

活動形態	活動名	ページ
ボランティア	ノジマステラ試合運営ボランティア	6
ボランティア	オリジナル梅酒『翠想』製造ボランティア	6
ボランティア	相模原市ボランティア認定制度	7
ボランティア	パンパドウルレシビコンテスト	7
ボランティア	清川村特産品開発プロジェクト	8
体験活動	福島県本宮市 田植え・農家民泊体験	8
体験活動	福島県本宮市 農作業体験・農家民泊体験	9
体験活動	福島県本宮市 稲刈り・農家民泊体験	9
体験活動	福島県本宮市 秋祭り・農家民泊体験	10
体験活動	三重県熊野市 歴史巡りと丸山千枚田・田植え体験	10
体験活動	三重県熊野市 歴史巡りと丸山千枚田・稲刈り体験	11
体験活動	新潟県佐渡市 歴史的遺産巡りと能楽体験	11
地域協働活動	群馬県富岡市〔夏季・春季〕	12
地域協働活動	長野県生坂村〔夏季・春季〕	12
地域協働活動	京都府和束町〔夏季・春季〕	13
地域協働活動	群馬県沼田市〔夏季・春季〕	13
地域協働活動	新潟県佐渡市〔夏季〕	14
プロジェクト活動	サガジヨ盛り上げ隊プロジェクト	15
プロジェクト活動	丸山千枚田魅力発信プロジェクト	16
プロジェクト活動	もとみやSMILEプロジェクト	17
プロジェクト活動	「海外に子ども用車椅子を届けよう!」プロジェクト	18
プロジェクト活動	群馬県富岡市 おっきリンピック宣伝部	19
プロジェクト活動	福岡県糸島市 女性のはたらき方研究プロジェクト	20
プロジェクト活動	復興支援学生ボランティア委員会	21
プロジェクト活動	電子回路ペン体験講座プロジェクト	22
プロジェクト活動	佐渡プロジェクト	23
全プロジェクト共通	プロジェクトに参加している学生アドバイザーにインタビュー!!	24
国際プログラム	ピクトリア大学協定校留学	25
国際プログラム	マニトバ州立大学協定校留学	25
国際プログラム	文藻外語大学交換留学	26
国際プログラム	ピクトリア大学英語研修	26
国際プログラム	ソウル女子大学韓国語研修	27
国際プログラム	文藻外語大学中国語研修	27
外国語・英語教育	キャンパス留学	28
外国語・英語教育	TOEIC® IPテスト	28
異文化理解	CEMLAボランティア	29
異文化理解	外国人訪問学生・交換留学生サポーター	29
その他	キャリア☆カフェ	30
その他	ユメカナ★カフェ, しゃべり場	31
その他	神奈川産学チャレンジプログラム	32
その他	「Sagamiチャレンジプログラム」for kids プロジェクト	32

3. よくある質問 P33～35

4.利用可能なスペース・設備紹介 P36～37

活動種別

ボランティア

概要	自らの意思に基づき主体的に参加する、社会貢献活動です。
参加単位	個人での参加が可能です。
活動期間	1日から数日の短期間のものから、年間を通して長期間で行うものまであります。

体験活動

概要	地域に赴き農作業や伝統芸能等の体験を行う、宿泊を伴う活動です。
参加単位	個人での参加が可能です。
活動期間	2～4日程度です。

地域協働活動

概要	指定されたプログラムを修了することにより、単位(1単位)を修得することができる活動です。 なお、事前指導の受講・事後報告書の提出・報告会への参画が必須となります。
参加単位	個人での参加が可能です。
活動期間	夏季もしくは春季休業期間中に1週間程度、現地に滞在します。

プロジェクト活動

概要	大学にプロジェクト設置の申請を行い、認められることで行うことができる活動です。 同じ想いや目的を持って集まった学生が、地域や企業等と協働しながら、それぞれが目的の達成に向けて活動を行います。 メンバーの募集やプロジェクトリーダーの選出等も学生自らが、学内外をフィールドとして年間を通して活動します。
参加単位	目的・目標をともにする仲間同士でプロジェクトを発足し、共に活動します。 既存のプロジェクトに参加する場合は、個人での申込が可能です。
活動期間	活動内容により様々になります。

国際教育活動 国際教育活動は、以下3つの種類の活動にわかれています。

国際プログラム	異文化理解、外国語・英語教育を海外というフィールドで行います。 おもに海外協定校への留学や語学研修プログラムです。
外国語・英語教育	国内で外国語・英語を学ぶプログラムです。 世界の人々と意思疎通を図る能力(外国語、英語等)を身につける活動です。
異文化理解	異文化との相互交流を通して、自分と異なる人や社会や文化などを理解し、 お互いに尊重しながら共に生きていく姿勢を身につける活動です。

その他

「ボランティア」「体験活動」「地域協働活動」「プロジェクト活動」「国際教育活動」以外の活動

「Sagamiチャレンジプログラム」とは？

本学では、学園スローガン「見つめる人になる。見つける人になる。」のもと、
「しなやかな発想力と豊かな包容力を身につけながら、未来を、社会を見つめ、道を、答えを見つける人になる。」
そのような人材を育成することを教育目標に掲げています。
「Sagamiチャレンジプログラム」は、上記の教育目標に則り「キャリア形成支援ポリシー」のもと
学生の「キャリア形成」を支援するプログラムです。

キャリア形成支援ポリシー

相模女子大学・相模女子大学短期大学部は、「社会との関わりの中で積み重ねる全ての経験を通して、社会と自分自身をしっかりと見つめ、自らの進む道を見つけ出し、人生を前向きに生きてゆくこと」を「キャリア形成」と位置付け、学生が、以下の力を身につけ、主体的に「キャリア形成」をするための「学びの場」を提供し、そこでの活動を支援します。

- ①興味・関心を幅広く持ち、物事の本質を見つめ、筋道を立てて問題を解決する力。
- ②社会との関わりにおける自分のありかたを考え、他者と柔軟なコミュニケーションをとり、協働できる力。
- ③「働くこと」の意義を理解し、自分らしい生き方を見つけ出し、プランニングできる力。

「Sagami チャレンジプログラム」における学びの仕組み

マーガレットスタディ

すべての学科・学年の学生を対象とした正課外活動における学びの仕組み「マーガレットスタディ」。
それぞれの活動においてPDCAサイクルを回すことにより、
目標の達成度を確認しながら自身の成長に気づき、弱点を補うことで次の活動につなげています。

Action

スキルの補強

- 「キャリア☆カフェ」で、次の活動に向けてスキルの補強

- 「ユメカナ★カフェ」の主催により主体性を強化するなど、次の活動に向けてスキルの補強

30～31ページ参照

Check

活動の振り返り

- 「活動報告書」による振り返り

- 「ユメカナ★カフェ」「キャリア☆カフェ」で、活動で得た経験を発信し、自らを振り返る

30～31ページ参照

Plan

自己分析・目標設定

- 「Sagamiチャレンジプログラムシラバス」から活動を選択

- 「ユメカナ★カフェ」「キャリア☆カフェ」で情報収集

30～31ページ参照

Do

各フィールドでの活動

- 社会貢献活動

6～23ページ参照

- 国際教育

25～29ページ参照

ここ強いアドバイザー制度があります

「Sagami チャレンジプログラム」 アドバイザー制度

教職員、学生、卒業生、地域や企業の方、外部講師などが
一丸となって学生を支援する制度です。

きめ細やかな支援

多様なバックグラウンドを持つ学内外様々な人がアドバイザー
となって学生が主体的に学ぶことができるよう支援します。

アドバイザーの役割

(例) 活動に対する指導や助言

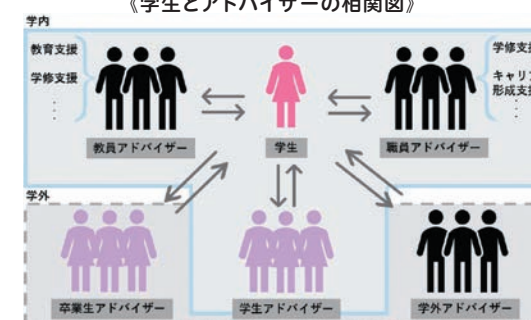
「マーガレットスタディ」における、
各種講座の企画・運営・講話

地域の人脈を活かしながら、
関係各所と連携し、活動を企画・運営

支援してくださる
地域の方々



《学生とアドバイザーの相関図》



卒業生アドバイザーからのメッセージ

電子回路ペン体験講座プロジェクト 22ページ参照

子ども教育学科 2021年度卒 高橋 未宇

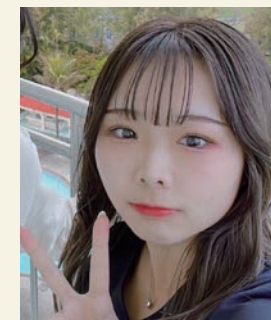
学生の頃にはなかなか関わることのできない企業の方と一緒に活動を運営する中で、多くのことを学びました。その中でも、活動を行う上でPDCAサイクルを取り入れることの大切さに気づきました。私は今、小学校教員をしていて、授業づくりをする上でも同じことだと思いました。授業を考え実施するだけでなく、振り返り改善すること、自分のスキルアップにも繋がり、子どもたちにも質の良い教育を提供できると思いました。また、活動を通して多くの小学生と関わることができ、どのようにしたら楽しんでもらえるか、どのような伝え方だとわかりやすいか、体験会を重ねながら、子どもとのコミュニケーションの仕方を学ぶことができました。それは、学校で子どもたちと生活を共にする中で、活かされていると感じています。



女性のはたらき方研究プロジェクト 20ページ参照

メディア情報学科 2021年度卒 水木 愛

私自身地元ですと育ち、大学で初めて市外に出たような狭い世界しか知らない人間でした。プロジェクト活動に参加していなかったら絶対に関わることはなかったであろうメンバー、職員さん、糸島の方と出会い、同世代、先輩後輩、大人の方とのコミュニケーションや多くの価値観を学ぶことができました。アルバイトで大人の方と接する機会はあったため、コミュニケーションに問題はないと思っていましたが、人と場面が変われば接し方も変わるとすぐに気づきました。そこに気づけていなかったら社会人としての準備も足りていなかったと思います。また、自分と近い環境の人が少ないため、価値観の違いが目立ちとても勉強になりました。社会に出ると問答無用でたくさんの人と関わることになります。そこでいかにかたくさんの知見があるか、それが学生から社会に出た際のギャップを少なくする要素なのではないかと私は思います。



ノジマステラ試合運営ボランティア

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	－	都度参加
活動フィールド	参加費の目安	
神奈川県・相模原市 ほか	－	



活動の到達目標
相模原市内にある、相模原ギオンスタジアムを主な活動フィールドとして試合運営のボランティアを行います。ボランティアには相模女子大学の学生だけではなく、様々な年齢・職業の方が参加します。様々な人とコミュニケーションを取りながら地域や社会、スポーツ振興に貢献することで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。

活動の概要
女子プロサッカーチーム「ノジマステラ神奈川相模原」のホームゲームにおける運営ボランティアスタッフとして年間を通じて活動します。来場者の受付や誘導、グッズ販売等の運営を補助し、チームの勝利に貢献することができます。毎年1回、選手との交流会などがあります。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画
2022-23シーズン 募集説明会
4月 募集説明会
～6月 (都度)試合運営ボランティア
2023-24シーズン 募集説明会
9月 募集説明会
10月～6月 (都度)試合運営ボランティア

職員からのメッセージ
相模原市のサッカーチームとの活動です。初めて社会貢献活動へ挑戦してみたい、と考えている方も気軽に挑戦できるボランティア活動ですので、新たなことへ挑戦してみたい方、積極的になりたい方、ぜひご参加ください。

オリジナル梅酒『翠想』製造ボランティア

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	－	5月～9月の間に 3～4日間
活動フィールド	参加費の目安	
神奈川県・相模原市	－	



活動の到達目標
大学にある梅の木から梅の実を収穫し、地元の酒蔵である久保田酒造(株)と連携してオリジナル梅酒『翠想』を製造します。事前に「キャリア☆カフェ」で相模女子大学と久保田酒造(株)の連携事業のきっかけや、地元の酒蔵が抱える課題についても学ぶことができます。そのうえで実際に梅の実の収穫・梅酒の仕込み作業や瓶詰め作業、販売までに携わり、地元産業への理解を深めます。

活動の概要
大学のキャンパスには梅の木が多くあり、5月には若々しい翠(みどり)の実をつけます。その梅の実が地元の久保田酒造(株)の「相模灘純米吟醸」に漬け込まれ、本学オリジナル梅酒『翠想』として販売されます。『翠想』の名前の由来は、梅の実の「翠」と、このキャンパスで学ぶ学生たちの「想い」を込めて「翠想(すいそう)」から名付けられました。梅酒の製造には、仕込みから瓶詰め、ラベル貼りまで携わることができます。また、ラベルが例年生活デザイン学科の学生が考案しています。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画
4月 募集説明会・キャリア☆カフェ
5～6月 梅の実の収穫・仕込み
7月頃 (生活デザイン学科のみ)ラベルデザイン考案
9月 梅酒瓶詰め作業・販売

職員からのメッセージ
『翠想』は地域の方に根強い人気があり、販売開始後数日で完売してしまうことがしばしばです。そんな地域の皆さんに愛される梅酒の製作に係わるボランティア活動にぜひご参加ください。

相模原市ボランティア認定制度

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	－	1年間
活動フィールド	参加費の目安	
神奈川県・相模原市 ほか	－	



活動の到達目標
相模原市内を中心とした地域の様々な問題、課題について向き合い、社会の一員として主体的に行動することのきっかけとします。また、認定の対象となるためにはボランティア活動を継続的に行う必要があります。積極的に社会貢献活動に参加し、またその活動を継続する力を身につけます。

活動の概要
相模原市が認定する市民協働事業のボランティア活動、もしくは夢をかなえるセンターが提供する社会貢献活動等に参加し、一定の活動時間と活動内容が認められた後、相模原市長から地域に貢献した証として認定書が贈られます。おもな活動事例：森林活用モデル検討事業、人と猫の共生社会支援事業など。

活動計画
6月 エントリー
6月～3月 ボランティアに参加
12月 活動レポート・報告書を提出
3月 認定証贈呈式

職員からのメッセージ
相模原市内を中心とした地域の様々な課題に向き合い、ボランティア活動を行います。活動日数・活動時間によって授与される認定証も学士、修士、博士と種類が変わります。ぜひ、博士の認定証を目指して積極的にご参加ください。

ポンパドウルレシピコンテスト

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	－	最長10ヶ月(実際の活動期間は2ヶ月程度)
活動フィールド	参加費の目安	
町田市・相模原市	－	



活動の到達目標
(株)東京ポンパドウルについて企業研究を行った上で、テーマに沿ったオリジナルパンのレシピを考案することにより、主体性・行動力を身に付けます。また、自分のアイデアを形あるものとして表現し、それを他者へ正確に伝える力を身に付けることも目標とします。

活動の概要
2015年度より(株)東京ポンパドウルとの産学連携活動として開催している本レシピコンテストは、学生考案のオリジナルパンのレシピを募集・商品化する取り組みを行っています。応募作品は(株)東京ポンパドウルにより審査され、採用となったレシピは相生祭やポンパドウル町田店等にて商品化および販売されます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画
6月 募集説明会
6～8月 レシピ募集
10月 結果通知
11・3月 商品化および販売

職員からのメッセージ
テレビ番組でも取り上げられる有名店「ポンパドウル」にて、自らが考案したレシピを審査していただける機会は滅多にありません。応募作品数に上限はありませんので、思い付く限りのレシピを応募してみてください。なお、当取り組みは学年・学科問いません。皆様のご応募をお待ちしています。

清川村特産品開発プロジェクト

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	40名	1年間
活動フィールド	参加費の目安	
清川村	－	



活動の到達目標	活動計画
清川村の特産品を活用した商品開発を行います。学生だけで行うわけではなく、地域の課題を理解した上で、清川村役場や村内の協力店舗など様々の方と協力しながらレシピ開発を進めていただきます。この活動を通して、協働力や課題解決力を磨きます。	5月 募集説明会
	7月～2月 活動への参加
	12月 試作品の販売
活動の概要	職員からのメッセージ
神奈川県唯一の村である清川村を舞台に、清川村の特産品である清川茶を使用した特産品開発を行います。レシピ開発は月1回程度、清川村へ訪問して行います。完成した試作品は村内最大のイベント「宮ヶ瀬クリスマス」の特設ブースにて販売します。	清川村役場や村内の協力店舗の方々にサポートいただきながら活動できるので、社会貢献活動が初めての方も安心です。栄養系に限らず幅広い学科の学生が活動しています。

福島県本宮市 農作業体験・農家民泊体験

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	20名	2日間
活動フィールド	参加費の目安	
福島県本宮市	6,500円	



活動の到達目標	活動計画
福島県のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝であったことから「福島へのそのまち」と言われている本宮市を訪問し、農作業や農家民泊などを体験します。地域の方々と交流し、多様な考え方や生き方を学ぶことで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。	5月 募集説明会への参加
	6月 参加確定者説明会への参加
	7月 農作業体験活動への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
福島県本宮市を1泊2日で訪問し、大学専用農地「マーガレットファーム」での農作業体験や農家民宿への宿泊を通して地域の方々と交流深め、地域の暮らしや生き方を学びます。 また、東日本大震災による原発の風評被害についてこれまでの対策と現状を学び、東日本大震災からの復興の取り組みに関する理解を深めます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	農作業や農家民泊など、普段の大学生活ではできないことを体験することで、自分の考え方や価値観に変化が出てきます。課外活動に参加したことがない学生にも参加しやすい内容となっています。

福島県本宮市 田植え・農家民泊体験

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	20名	2日間
活動フィールド	参加費の目安	
福島県本宮市	6,500円	



活動の到達目標	活動計画
福島県のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝であったことから「福島へのそのまち」と言われている本宮市を訪問し、田植えや農家民宿などを体験します。地域の方々と交流し、多様な考え方や生き方を学ぶことで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。	4月 募集説明会への参加
	5月 参加確定者説明会への参加
	5月 田植え体験活動への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
福島県本宮市を1泊2日で訪問し、田植え体験や大学専用農地「マーガレットファーム」での農作業体験や農家民宿への宿泊を通して地域の方々と交流深め、地域の暮らしや生き方を学びます。また、東日本大震災による原発の風評被害についてこれまでの対策と現状を学び、東日本大震災からの復興の取り組みに関する理解を深めます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	田植えや農家民泊など、普段の大学生活ではできないことを体験することで、自分の考え方や価値観に変化が出てきます。課外活動に参加したことのない学生にも参加しやすい内容となっています。

福島県本宮市 稲刈り・農家民泊体験

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	20名	2日間
活動フィールド	参加費の目安	
福島県本宮市	6,500円	



活動の到達目標	活動計画
福島県のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝であったことから「福島へのそのまち」と言われている本宮市を訪問し、地域の祭りや農家民泊などを体験します。地域の方々と交流し、多様な考え方や生き方を学ぶことで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。	7月 募集説明会への参加
	9月 参加確定者説明会への参加
	10月 体験活動への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
福島県本宮市を1泊2日で訪問し、稲刈り体験や大学専用農地「マーガレットファーム」での農作業体験、農家民宿への宿泊を通して地域の方々と交流深め、地域の暮らしや生き方を学びます。また、東日本大震災による原発の風評被害についてこれまでの対策と現状を学び、東日本大震災からの復興の取り組みに関する理解を深めます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	稲刈りや農家民泊など、普段の大学生活ではできないことを体験することで、自分の考え方や価値観に変化が出てきます。特に、田植えに参加した学生は、自分が植えた苗を収穫する機会にもなっています。

福島県本宮市 **秋祭り・農家民泊体験**

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	20名	2日間
活動フィールド	参加費の目安	
福島県本宮市	6,500円	



活動の到達目標
福島県のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝であったことから「福島へのそのまち」と言われている本宮市を訪問し、地域の祭りや農家民泊などを体験します。地域の方々と交流し、多様な考え方や生き方を学ぶことで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。

活動の概要
福島県本宮市を1泊2日で訪問し、本宮市伝統の秋祭りに参加します。お揃いの化粧と法被を纏い女性しか担げない「真結女神輿」で地元の方々と一緒に祭りを盛り上げます。 また農作業体験や農家民宿への宿泊を通して地域の方々と交流深め、地域の暮らしや生き方を学びます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画	
7月	募集説明会への参加
9月	参加確定者説明会への参加
10月	体験活動への参加

職員からのメッセージ
神輿担ぎや農家民泊など、普段の大学生活ではできないことを体験することで、自分の考え方や価値観に変化が出てきます。

三重県熊野市 **歴史巡りと丸山千枚田・田植え体験**

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	33名	3日間
活動フィールド	参加費の目安	
三重県熊野市	11,000円	



活動の到達目標
日本の偉大なる遺産の宝庫・三重県熊野市を訪問し、歴史的遺産等を巡り熊野市がなぜ日本の聖地と言われているかを探ります。また、日本最大規模の棚田・丸山千枚田では、昔ながらの手法による手作業で田植えを行います。日常では経験することができない貴重な体験を通じて、日本の歴史や農耕文化について理解を深めます。

活動の概要
熊野市の遺産等を巡り、丸山千枚田で手作業による田植えを体験します。この活動は、2008年に農林水産省が主催する「田舎で働き隊」に30名の本学生が参加したことがきっかけで始まり、全国で初めて女子大生が参加するということで注目を集めました。地域の方々との協働により交流を深め、地域の暮らしや生き方を学びます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画	
4月	募集説明会への参加
5月	参加者説明会への参加
5月	活動への参加

職員からのメッセージ
2008年から継続的に行っている、本学の学生活動を代表する取り組みです、活動の導入として初心者でも参加しやすい内容となっています。

三重県熊野市 **歴史巡りと丸山千枚田・稲刈り体験**

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	33名	3日間
活動フィールド	参加費の目安	
三重県熊野市	11,000円	



活動の到達目標
日本の偉大なる遺産の宝庫・三重県熊野市を訪問し、歴史的遺産等を巡り熊野市がなぜ日本の聖地と言われているかを探ります。また、日本最大規模の棚田・丸山千枚田では、昔ながらの手法による手作業で稲刈りを行います。日常では経験することができない貴重な体験を通じて、日本の歴史や農耕文化について理解を深めます。

活動の概要
熊野市の遺産等を巡り、丸山千枚田で手作業による稲刈りを体験します。この活動は、2008年に農林水産省が主催する「田舎で働き隊」に30名の本学生が参加したことがきっかけで始まり、全国で初めて女子大生が参加するということで注目を集めました。地域の方々との協働により交流を深め、地域の暮らしや生き方を学びます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画	
7月	募集説明会への参加
8月	参加確定者説明会への参加
9月	体験活動への参加

職員からのメッセージ
2008年から継続的に行っている、本学の学生活動を代表する取り組みです、活動の導入として初心者でも参加しやすい内容となっています

新潟県佐渡市 **歴史的遺産巡りと能楽体験**

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	5名	5日間
活動フィールド	参加費の目安	
新潟県佐渡市	7,000円	



活動の到達目標
広大な自然の中で展開された歴史や文化などが多様に織りなす新潟県佐渡市を訪問し、佐渡市がなぜ「日本の縮図」と言われているかを探ります。また、佐渡島内で現在も大衆に愛されている能楽を地域の方から教わります。豊かな自然の中で育った農水産物を頂いたり、歴史的遺産を巡ったりするなど地域社会を様々な角度から学び、日本の歴史や伝統文化について理解を深めます。

活動の概要
新潟県佐渡市を4泊5日で訪問し、地域の能楽団体「羽茂昭謡会」の方に能楽を教わり、草刈神社の「乙祭」の前座で仕舞を披露します。 事前に能楽のお稽古を行いますので、能楽未経験学生も参加可能です。能楽や佐渡の民謡「佐渡おけさ」体験を通して地域の方々との交流を深め、地域の暮らしや生き方を学びます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

活動計画	
5月	募集説明会への参加
6～9月	参加説明会及び事前お稽古への参加
9月	活動への参加
10月	振り返り

職員からのメッセージ
活動期間中はコテージタイプの宿舎に泊まり込み、炊事や掃除などを協力して行います。地域の方との交流はもちろん、現地での共同生活を通して参加者同士の交流も深められます。主体的に参加することで学ぶ機会を多く得ることが出来ます。ハードルが高いと思われるがちな能楽ですが親切・丁寧にご指導いただけるので、興味や関心がある方はぜひ挑戦してください！

群馬県富岡市【夏季・春季】

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	5名	2ヶ月 (滞在期間は1週間)
活動フィールド	参加費の目安	
群馬県富岡市	未定	



活動の到達目標	活動計画
地域の人々と交流し、多様な考え方、生き方を学び、社会・対人間関係力、自己成長及び他者貢献を継続・向上させる力、ファシリテーション力、課題解決に対する行動力を身に付け、今後の社会活動に活かす素養を得ることを目標とします。	7・12月 募集説明会への参加
	8・2月 事前学習講座・研修会への参加
	9・3月 現地での活動
	9・3月 事後学習講座・報告会への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
群馬県富岡市には、煮込み麺を使った郷土料理「おっきりこみ」があります。地元の農産物の活用することで消費拡大に貢献し、「おっきりこみ」をさらに家庭の味としてPRしていきます。その他、現地での滞在中は「富岡製糸場」など富岡市の農文化とその歴史、自然を学び、都会からどのように観光客を誘致できるかなど、提案をしていきます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	夏季・春季休業期間を利用して行う活動です。世界文化遺産の町、富岡市の歴史と文化を学ぶことができます。地元の方々との交流や郷土料理「おっきりこみ」のPRなど観光客誘致の課題解決にも取り組みます。

京都府和束町【夏季・春季】

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	5名	2ヶ月 (滞在期間は1週間)
活動フィールド	参加費の目安	
京都府和束町	未定	



活動の到達目標	活動計画
地域の人々と交流し、多様な考え方、生き方を学び、社会・対人間関係力、自己成長及び他者貢献を継続・向上させる力、ファシリテーション力、課題解決に対する行動力を身に付け、今後の社会活動に活かす素養を得ることを目標とします。	7・12月 募集説明会への参加
	8・2月 事前学習講座・研修会への参加
	9・3月 現地での活動
	9・3月 事後学習講座・報告会への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
京都府の和束町に1週間ほど滞在します。茶畑での収穫作業を中心に加工工場での補助作業等を通して、お茶の作法や歴史・文化も学び、地域の魅力の掘り起こしや活性化に繋がる提案などを行います。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	夏季・春季休業期間を利用して行う活動です。和束町は「宇治茶」の生産量が日本一の町です。ここでの活動は、お茶の収穫や歴史を学ぶとともに、和束カフェの運営や美味しいお茶の飲み方など地域との交流も楽しみの一つです。

長野県生坂村【夏季・春季】

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	5名	2ヶ月 (滞在期間は1週間)
活動フィールド	参加費の目安	
長野県生坂村	未定	



活動の到達目標	活動計画
地域の人々と交流し、多様な考え方、生き方を学び、社会・対人間関係力、自己成長及び他者貢献を継続・向上させる力、ファシリテーション力、課題解決に対する行動力を身に付け、今後の社会活動に活かす素養を得ることを目標とします。	7・12月 募集説明会への参加
	8・2月 事前学習講座・研修会への参加
	9・3月 現地での活動
	9・3月 事後学習講座・報告会への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
長野県生坂村に1週間ほど滞在します。農業体験を中心としたプログラムで、地域の農産物・温泉を活用した新商品開発や物産品の販売方法などを提案します。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	夏季・春季休業期間を利用して行う活動です。自然豊かな生坂村での活動は、参加時期によってプログラムが自然の変化なども楽しめます。味噌づくり、お焼きづくり、蕎麦打ち体験など盛りだくさんのプログラムです。

群馬県沼田市【夏季・春季】

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	5名	2ヶ月 (滞在期間は1週間)
活動フィールド	参加費の目安	
群馬県沼田市	未定	



活動の到達目標	活動計画
地域の人々と交流し、多様な考え方、生き方を学び、社会・対人間関係力、自己成長及び他者貢献を継続・向上させる力、ファシリテーション力、課題解決に対する行動力を身に付け、今後の社会活動に活かす素養を得ることを目標とします。	7・12月 募集説明会への参加
	8・2月 事前学習講座・研修会への参加
	9・3月 現地での活動
	9・3月 事後学習講座・報告会への参加
活動の概要	職員からのメッセージ
群馬県の沼田市に1週間ほど滞在します。観光農園・古民家を活用した農泊（ホームステイ）や現地の農作物を利用した料理作りなどを通して、観光活性化策を提案します。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	夏季・春季休業期間を利用して行う活動です。日本有数の温泉地での活動では、観光資源の実体験や農業体験、市場体験、農泊体験など、このほかにも沢山のプログラムが用意されています。

新潟県佐渡市 豊かな自然と文化の調和～伝統芸能体験～

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	12名	5日間
活動フィールド	参加費の目安	
新潟県佐渡市	12,000円	



活動の到達目標	活動計画										
広大な自然の中で展開された歴史や文化などが多様に織りなす新潟県佐渡市を訪問し、佐渡市がなぜ「日本の縮図」と言われているかを探ります。また、佐渡島内で現在も集落ごとに伝承されている伝統芸能(鬼太鼓など)を地域の方から教わります。豊かな自然の中で育った農水産物を頂いたり、歴史的遺産を巡ったりするなど地域社会を様々な角度から学び、日本の歴史や伝統文化について理解を深めます。	<table> <tr><td>5月</td><td>募集説明会への参加</td></tr> <tr><td>6～7月</td><td>参加者説明会への参加</td></tr> <tr><td>8月</td><td>活動への参加</td></tr> <tr><td>10月</td><td>振り返り</td></tr> <tr><td>11月</td><td>相生祭での鬼太鼓披露(一部集落のみ)</td></tr> </table>	5月	募集説明会への参加	6～7月	参加者説明会への参加	8月	活動への参加	10月	振り返り	11月	相生祭での鬼太鼓披露(一部集落のみ)
5月	募集説明会への参加										
6～7月	参加者説明会への参加										
8月	活動への参加										
10月	振り返り										
11月	相生祭での鬼太鼓披露(一部集落のみ)										
活動の概要	職員からのメッセージ										
新潟県佐渡市を4泊5日で訪問し、高千地区内の集落に学生を2名程度ずつ受け入れていただき、各集落に伝承されている伝統芸能(鬼太鼓など)を教わります。教わった芸能を、「夏の彩典 たかち芸能祭」で島民や帰省客・観光客に披露します。芸能体験を通して地域の方々との交流を深め、地域の暮らしや生き方を学びます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	活動期間中は公民館に泊まり込み、炊事や掃除などを協力して行います。地域の方との交流はもちろん、現地での共同生活を通して参加者同士の交流も深められます。主体的に参加することで学ぶ機会を多く得ることができます。ハードルが高いと思われがちな伝統芸能体験ですが親切・丁寧に指導いただけるので、興味や関心がある方はぜひ挑戦してください！										

サガジョ盛り上げ隊プロジェクト

活動の到達目標	活動計画						
「相模女子大学をさらに好きになってほしい、より多くの人に知ってもらいたい」という目標を掲げ活動をしています。目標達成に向け様々な活動に取り組む中で、主体性・発信力を身につけていきます。企画を一つ一つこなすことで、協働力を向上させ、自分自身の成長にもつながります。	<table> <tr><td>4月</td><td>入学式登壇・募集説明会</td></tr> <tr><td>6～11月</td><td>歴史マッププロジェクト 相生祭「サガジョ歴史ツアー」</td></tr> <tr><td>2月</td><td>「夢をかなえるセンターパンフレット」 「Sagamiチャレンジプログラムシラバス」 の表紙撮影</td></tr> </table>	4月	入学式登壇・募集説明会	6～11月	歴史マッププロジェクト 相生祭「サガジョ歴史ツアー」	2月	「夢をかなえるセンターパンフレット」 「Sagamiチャレンジプログラムシラバス」 の表紙撮影
4月	入学式登壇・募集説明会						
6～11月	歴史マッププロジェクト 相生祭「サガジョ歴史ツアー」						
2月	「夢をかなえるセンターパンフレット」 「Sagamiチャレンジプログラムシラバス」 の表紙撮影						
※2022年度の実績です							
Instagram							
運用中のアカウントは、こちらの二次元コードよりご覧ください。							



プロジェクト学生にインタビュー！

●活動の魅力は？

当プロジェクトは、人との繋がりを作れる場所・新しいことを挑戦できる場所です！他のプロジェクトとは異なり、「サガジョを盛り上げること」に繋がる様々な活動に、学生主体でチャレンジできます。また、文章、写真、絵などの様々な形で、相手に自分たちの考えを伝える「発信力」を磨くとともに、非対面でも人との交流を増やすことができるのも、大きな魅力です。

●活動を通じて成長したと感じられる点は？

いろいろな活動をしてきた中で、入学式での活動をピックアップすると、人前で話す勇氣と人に伝える力、を得ることができたと感じています。私は、このサガジョ盛り上げ隊で2回も入学式で、自分たちの活動紹介などをしてきました。毎回大勢の人の前に立つ度に足ががくがく震えて心臓もバクバクでしたが、それでも練習もしたので、きちんと新入生に思いを伝えようと努力をしました。その結果、終わった後に職員さんにお褒めの言葉をいただき、それが私の自信となりました。

●在学生へメッセージをお願いします！

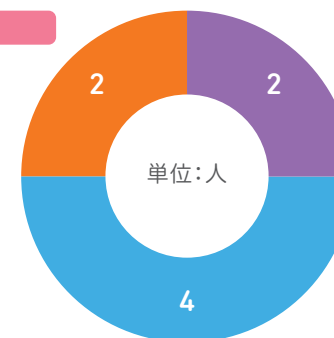
やりたいことは決まっていけど、とにかく何か活動したい！友人の輪を広げたい！発信力や協調性を身につけたい！幅広い年齢層の人と関りたい！など、そのような気持ちが少しでもあったらぜひ参加してみてください！！サガジョ盛り上げ隊プロジェクトを通してより充実した大学生活を送ってもらえたら嬉しいです。また、当プロジェクトを自分の可能性を広げる場として、活用してもらえたら嬉しいです☆



DATA 所属学生のデータ

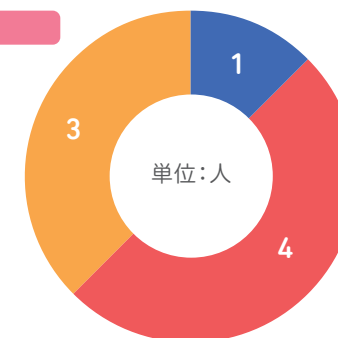
学科

- 日文
- 英文
- 教育
- メディア
- デザイン
- 社会
- 心理
- 健康
- 管理
- 栄養



学年

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生



※2022年度の実績です

丸山千枚田魅力発信プロジェクト

活動の到達目標

三重県熊野市にある棚田・丸山千枚田の保存活動に参画し「丸山千枚田を守る会」の会員を増やすことを目標としています。目標達成のために、多くの方へ丸山千枚田の情報を発信する活動を行います。この活動を通して、他者に思いを伝える“発信力”を、メンバーとともに楽しみながら養っていただきたいと思います。

活動の概要

日本の農耕文化を代々継承することで守られてきた丸山千枚田ですが、地域の過疎化や高齢化により、農業の担い手不足だけでなく、下支えるオーナーや守る会会員の減少が課題となっています。私たちはそんな丸山千枚田の課題と向き合い魅力を発信する活動を行なっています。活動の場所は学内のみならず、実際に現地を訪問し地域の方々とともに農作業を行う等、貴重な体験をしています。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



プロジェクト学生からのメッセージ

今年度から通常の活動を再開することができ、私たちは楽しみながら活動をしています。現地を訪問する中で人の温かさを感じたり、綺麗な景観の裏側を知ったりすることができました。これらは実際に訪問しなければ感じる事ができないことでした。学部学科関係なく在籍している為様々なアイデアが生まれ、助け合いながら活動をしています。農作業をしてみたい方、現地の方と交流してみたい方、PR活動してみたい方は是非一緒に活動をしましょう！皆さんのご参加をお待ちしています！

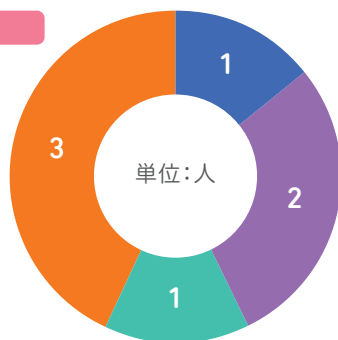
活動の様子



DATA 所属学生のデータ

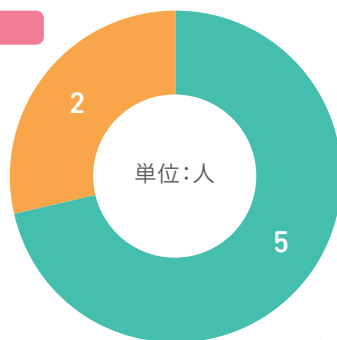
学科

- 日文
- 英文
- 教育
- メディア
- デザイン
- 社会
- 心理
- 健康
- 管理
- 栄養



学年

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生



※2022年度の実績です

もとみやSMILEプロジェクト

活動の到達目標

本宮市とプロジェクトメンバーで1年間の活動計画を決定します。主に地域が抱える課題の解決策や地域イベント、コラボ商品開発、地域連携フェア(物産展)の開催など本宮市と連携し地域の活性化や学生個々のスキルアップを目指します。

活動の概要

相模女子大学と福島県本宮市は地域協働活動事業に係る協定を締結しています。その中で「もとみやSMILEプロジェクト」は東日本大震災や台風19号で被災した市民の皆さんをもっと笑顔に、もっと元気にしたい！という想いを持つ有志の学生が集まったプロジェクトです。年間を通して様々な活動やイベントに参加し本宮市のPRをしています。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



プロジェクト学生にインタビュー！

●活動の魅力は？

もとみやSMILEプロジェクトは、たくさんの方々と触れ合うことが多く、様々なことを吸収し、経験することができます。本宮の方々と関わることで第二の故郷になりますよ！

●活動を通じて成長したと感じられる点は？

人と話すことが多いのでコミュニケーション能力が上がったと感じます。また、メールやSNSで自分の気持ちを伝えることが多いため、敬語から宣伝文まで多様なターゲットに向けた文章を考える力を身につけることができます！

活動計画

4月	学内マーガレットファーム菜園についての学習
5月	本宮市訪問①(田植え体験、野菜の苗植え、放射線についての学習)
6月	学内マーガレットファームにて苗植え
7月	本宮市訪問②(野菜の収穫、放射線についての学習)
8～9月	今後の活動についての打ち合わせ
10月	本宮市訪問③(本宮真結女神輿の参加、野菜の収穫作業、稲刈り体験)
11月	相生祭の物産展の参加
12月	浅草での東日本大震災復興観光物産展の参加
1～2月	来年度の活動の打ち合わせ

※2022年度の実績です

Instagram

運用中のアカウントは、こちらの二次元コードよりご覧ください。



●在学生へメッセージをお願いします！

後輩の皆さん、まずは軽い気持ちでプロジェクト活動に参加してみてください！必ず得られるものがあります。将来、『自分が何をやりたいか』『どんな仕事に向いているか』のヒントとなることがあります！そして、何よりプロジェクト先の方々との繋がりが『一生の宝』になります。

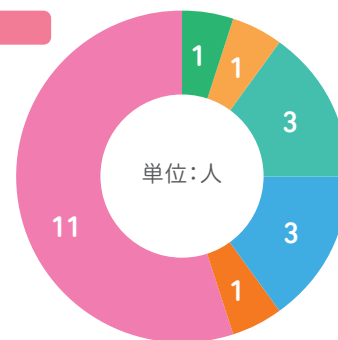
活動の様子



DATA 所属学生のデータ

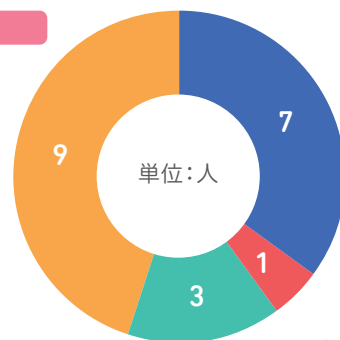
学科

- 日文
- 英文
- 教育
- メディア
- デザイン
- 社会
- 心理
- 健康
- 管理
- 栄養



学年

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生



※2022年度の実績です

「海外に子ども用車椅子を届けよう！」プロジェクト

活動の到達目標	活動計画
「ARIGATO」を実現するため、私たちができる限りの活動を行います。車椅子は送るだけでなく、車椅子を日本で使っていた方々の思いを伝えられるように、私たちが実際に修理し現地に訪問し直接手渡しします。また、活動資金調達のため、イベントやお祭りにも参加し活動をPRします。	4月 新メンバー加入
	5月 勉強会
	7月 募集説明会
	8月 募集説明会
	10月 定例会・HP作成
	11月 相生祭・日光マウンテンランニング
	2月 氷切り出し(天然氷の製作)
	※2022年度の実績です
活動の概要	
東日本大震災でタイからの支援に対する日本の「ARIGATO」を車椅子にのせて届けよう!とスタートしたプロジェクトです。海外では、貧困のために沢山の障害児が車椅子もなく不自由な生活を送っています。日本国内において子どもの成長により不要になった車椅子を修理し、ミャンマー、ラオス、マレーシアなどにこれまで寄贈してきました。今後子ども達と触れ合うことを大切に沢山の「ARIGATO」を伝えていきます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。	

プロジェクト学生にインタビュー！

●活動の魅力は？

活動の魅力の一つは、活動を通じて様々な人との出会いがあることです。同級生、同じ趣味の仲間とはまた違った、多様な価値観や個性を持った人から刺激・元気をもらうことができます。また当プロジェクトでの活動が、社会の役に立っている実感を得られることも、魅力の一つになります。

●活動を通じて成長したと感じられる点は？

この活動を通して、目上の方々との正しい関わり方を学ぶことが出来ました。当プロジェクトは先生や先輩方だけでなく、活動を運営している会の方々と関わる機会が多くあり、そのような場面では正しい敬語を使うことが求められます。人として身に付けなければいけないマナーを学ぶことが出来たという点において成長が感じられました。

●在学生へメッセージをお願いします！

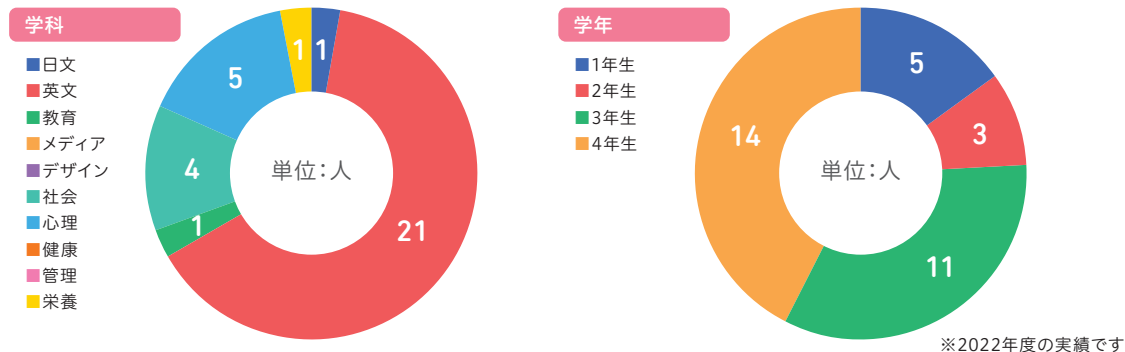
「興味はあるけどよく分からない、不安だな」という学生さんが多いと思います。質問なども受け付けていますので活動内容が気になる方は遠慮なくお声がけください。一緒に楽しみながら活動していきましょう！

Instagram
運用中のアカウントは、こちらの二次元コードよりご覧ください。


活動の様子



DATA 所属学生のデータ



群馬県富岡市 おっきりンピック宣伝部

活動の到達目標	活動計画
群馬県富岡市の郷土料理である「おっきりこみ」を通じて、富岡市や相生祭に貢献することを目指します。さらに富岡市の歴史や文化について学び、富岡市の魅力を多くの方に知ってもらえるような取り組みを企画・運営することも目標です。	5月 新規メンバー募集説明会/富岡市訪問
	10月 新規メンバー募集説明会
	11月 相生祭(地域物産展・活動内容の展示) おっきりンピック
	3月 おっきりンピック(予定)
	※2022年度の実績です
活動の概要	
「おっきりこみ」をはじめ、富岡市の魅力を多くの人に発信する活動です。私たちはNPO法人「ふれあいパーク岡成」の皆様のご協力をいただきながら、富岡市で行われる「おっきりンピック」というイベントを運営しています。そのほかにも相生祭やSNSで、おっきりこみや養蚕業について発信しています。詳細は、新規メンバー募集説明会にて説明します。SNSからもお気軽にお問い合わせください！	
Instagram・Twitter	
運用中のアカウントは、こちらの二次元コードよりご覧ください。	 

プロジェクト学生にインタビュー！

●活動の魅力は？

ふれあいパーク岡成は平均年齢が70歳を超えていますが、はつらつとした方が多く、一緒に活動していてやりがいを感じられます。常に「若い力」「若者のアイデア」を求められるため、活動はルーティンワークではなく新しいアイデアを出し合いながら行っています。授業やアルバイトなどで学んだことを生かすチャンスです。また、特に栄養系の学生さんは必見です！おっきりンピックではおっきりこみを大鍋で作るので、大量調理の流れを実践的に学ぶことができます。

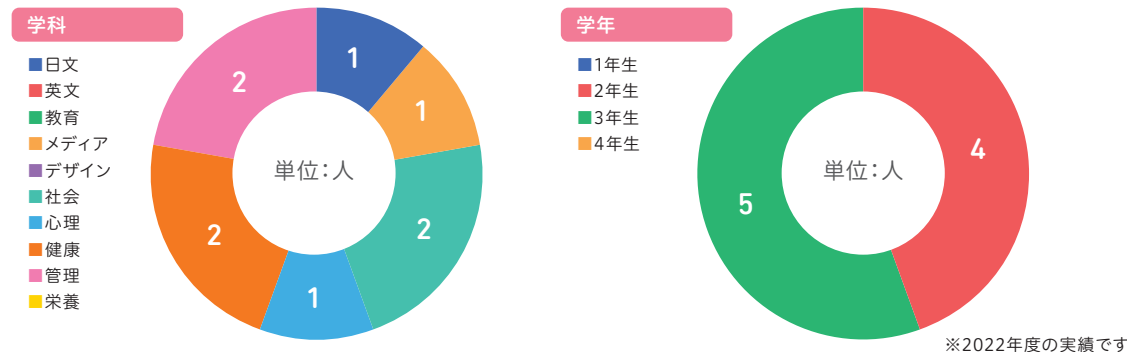
●活動を通じて成長したと感じられる点は？

学生が中心となって活動の企画・運営を行うため、社会人に必要な情報収集力、発信力、コミュニケーション力などを一足早く身につけることができます。

●在学生へメッセージをお願いします！

群馬県富岡市の郷土料理「おっきりこみ」の認知度を高めるためにはどんなアプローチをすれば良いでしょう？アイデアは常に募集中、食×地域貢献に興味のある方必見です！地元愛にあふれる現地のNPO法人の方々と一緒に、富岡市を盛り上げていきましょう！

DATA 所属学生のデータ



福岡県糸島市女性のはたらき方研究プロジェクト

活動の到達目標

多様な生き方・働き方をする方々との出会いを通じて、自分自身を見つめ、自分の進路にヒントを見つけることを目標とします。また、学科・学年を問わずに集まったメンバーが、役割分担や意見交換などを通して、他者と協力する力を身につけます。

活動の概要

移住先として人気の福岡県糸島市をフィールドに「これからの女性のはたらき方」について研究します。糸島の魅力あふれる自然や歴史、人に囲まれながら、多様なはたらき方をする方へのインタビューを通じて、自分自身がどのように生きていくかを考えます。また、相生祭での商品販売やSNSでの情報発信等により、糸島の魅力を多くの人に伝えていきます。なお、当プロジェクトは単年度の活動になります。継続して参加したい場合は、再度申込を行ってもらう必要があります。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



プロジェクト学生からのメッセージ

このプロジェクトに参加してみて、幅広い年齢層の方々とのコミュニケーション能力が高まりました。たくさんの人生の先輩方にお話を聞くことは、自分の考え方が広がるため、とても価値があります。是非、ご参加ください！

●2022年度の具体的な活動紹介

①はたらき方研究に関するインタビュー

糸島で暮らす・働く人たちが社会に出た卒業生へのインタビューなどを通じ、これからの“女性のはたらき方”や“自らのはたらき方”について考え、将来のビジョンを確立します。

②糸島の魅力発信

近年、新鮮な食材や観光地、移住先として注目を浴びている糸島の魅力を首都圏に住む人や周りの人に発信することを通じ、情報発信力を身につけます。

③OGとのプラットフォーム作り

これまでに糸島プロジェクトに参加した上級生や卒業生と交流できるプラットフォームを構築します。交流をとおして、社会に出てから必要となるコミュニケーション能力の向上や人脈の構築を図ります。

活動計画

6月	募集説明会
7月	メンバー顔合わせ・役割分担決め
7～11月	各グループ企画立案・実行準備
12月	糸島地域の方にオンラインインタビュー
1月	OGとのオンライン交流会
2月	現地訪問
3月	活動報告書作成

※2022年度の実績です

Instagram

運用中のアカウントは、こちらの二次元コードよりご覧ください。



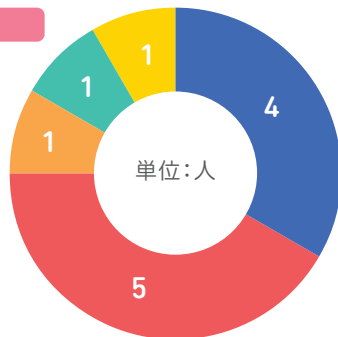
活動の様子



DATA 所属学生のデータ

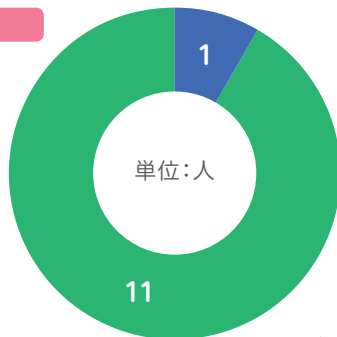
学科

■日文
■英文
■教育
■メディア
■デザイン
■社会
■心理
■健康
■管理
■栄養



学年

■1年生
■2年生
■3年生
■4年生



※2022年度の実績です

復興支援学生ボランティア委員会

活動の到達目標

東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市の復興を支援するとともに、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えることです。「被災地のために何ができるか」を自ら考え、それを実現するために行動しようとする主体性を身につけます。

活動の概要

東日本大震災発生後の2011年6月に炊き出しのボランティアとして岩手県大船渡市を訪問したことをきっかけに発足した学生主体の活動です。定期的な現地訪問では、復興アパートでの市民との交流や、保育園・幼稚園やイベントでの市の花「椿」を活用した地域活性化活動などを行っており、新しい取り組みとしては、訪問した際に撮影した写真や動画をInstagram、YouTubeで発信しています。



プロジェクト学生にインタビュー！

●活動の魅力は？

震災や復興の記憶を風化させないことと共に、大船渡の地域おこしに参加できることです。街や豊かな自然に加え、温かな地域の皆さんと関われることも魅力の一つだと感じています。

●活動を通じて成長したと感じられる点は？

自分たちの力で、現状に対して何が必要か考え、それを実行することができるようになったことだと思います。

●在学生へメッセージをお願いします！

学年学科問わず様々な学生がおり、温かい雰囲気の中で仲良く活動しています。参加お待ちしております！

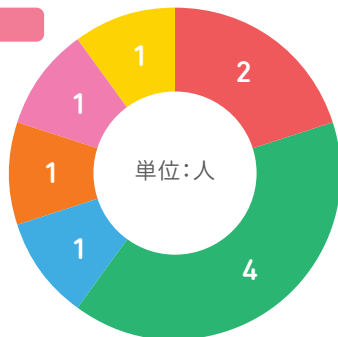
活動の様子



DATA 所属学生のデータ

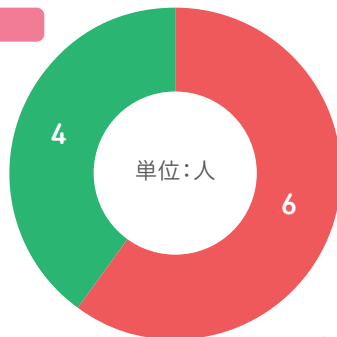
学科

■日文
■英文
■教育
■メディア
■デザイン
■社会
■心理
■健康
■管理
■栄養



学年

■1年生
■2年生
■3年生
■4年生



※2022年度の実績です

電子回路ペン体験講座プロジェクト

活動の到達目標
出張授業で接する子どもたちの疑問に対して、正確に分かりやすく伝える力を身につけるとともに、学ぶことの楽しさを共有します。また、他のメンバーと協働しながら1つの授業を作り上げることで、協働力・コミュニケーション力を身につけます。

活動の概要
「電子回路が書けるペン」を使った理科の授業を運営し、電気のしくみや理科の楽しさを伝えていく活動です。学生自らが企画した授業内容を、近隣の小学校で出張授業として行います。ペンで電子回路を描き、LEDランプを光らせたときの嬉しさを小学生と共有することができます。「相模原市印刷広告協同組合」との連携のもと、みんなで協力して授業を作り上げています。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

プロジェクト学生からのメッセージ

プロジェクトメンバーは、“子どもと一緒に楽しませることで学ぼう”をモットーとしています。「理科・電気系は苦手です」という学生の方も、子どもと同じ目線で楽しめて良い経験が出来ると思います。またプロジェクト内の雰囲気は和気あいあいとしていて、メンバーで助け合いながら楽しく活動しています。学年・学科問いません。皆さんのご参加をお待ちしております！

●コロナ禍での活動紹介

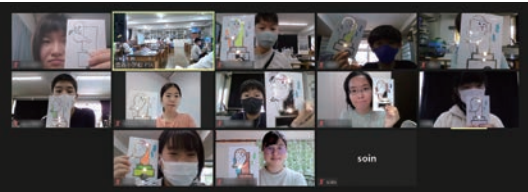
コロナ禍では、相模原市内の小学生を対象に、「電子回路が書けるペン」を使った講座を、オンラインにより実施しました。また、当プロジェクトの魅力をPRし新たなメンバーを募ることを目的に、在学生を対象とした電子回路ペン体験講座を実施しました。

活動計画	
4月	募集説明会
5～7月	出張授業の企画
8月	雪谷小学校(東京都大田区)での出張授業
1月	PR動画制作

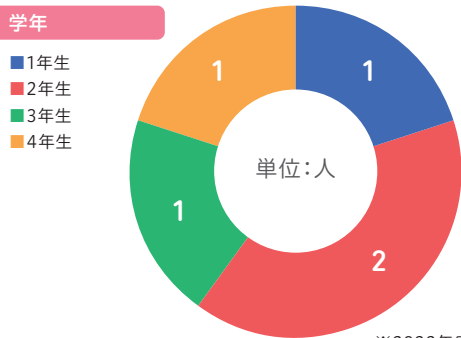
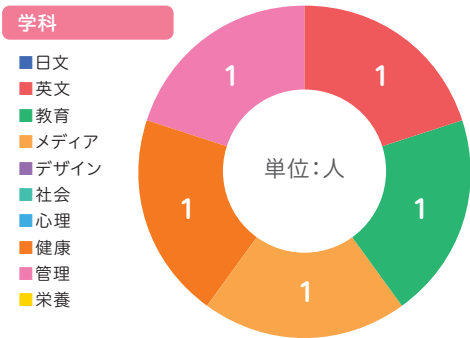
※2022年度の実績です

定例会は月2回ほど実施しています。

活動の様子



DATA 所属学生のデータ



※2022年度の実績です

佐渡プロジェクト

活動の到達目標
伝統芸能を切り口として、新潟県佐渡市の地域社会や自然、歴史を深く学びます。 地域の方との交流やメンバーとの共同生活を通して、社会とどのように係わり、貢献していくかなど、社会の一員として自分自身の在り方や生き方を見つめ直し、成長へつなげます。

活動の概要
佐渡島内の各集落が代々継承することで守られてきた伝統芸能ですが、地域の過疎化や高齢化により、芸能の担い手や後継者不足が課題となっています。私たちは現地で鬼太鼓や能楽を芸能を教わるだけでなく、地域の方との交流を通して佐渡島の地域社会や歴史を学び、一人一人が見つけた佐渡の魅力を発信する活動を行っています。また、芸能によって生まれた佐渡とのつながりを卒業後も継続できるような仕組みづくりにも取り組みます。 詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

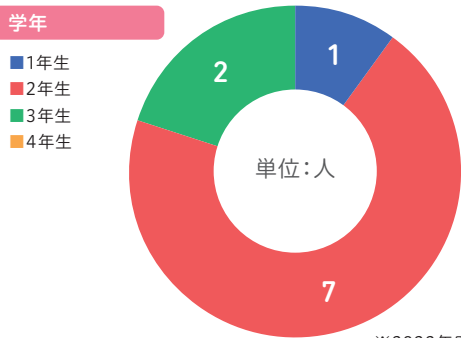
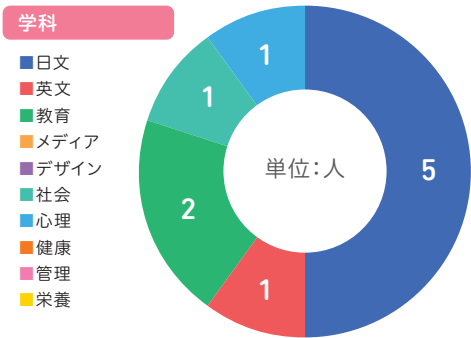
プロジェクト学生からのメッセージ

学内の方だけでなく、地域の方々と触れ合い、夏や秋にはその地域の文化や自然にも触れることができる活動です。
歴史・文化・自然に興味がある方、「芸能」が紡ぐ地域の方との温かな時間を過ごしたい方、人とのつながりを通して自分自身の在り方や生き方を見つめ直してみたい方、魅力沢山の活動を是非一緒にやりましょう！
学部学科問いません。ご参加お待ちしております。

活動の様子



DATA 所属学生のデータ



※2022年度の実績です

プロジェクトに参加している学生アドバイザーにインタビュー！！

Q. 活動に参加して良かったことを教えてください

復興支援学生ボランティア委員会

健康栄養学科 3年 渡邊 歩実

学部の枠をこえて、色々な学生と出会えたことだと思います。ミーティングやクリスマス会、プライベートでの交流などを通して大学生生活における沢山の思い出ができ、社会人になっても仲良くしたい仲間に出会うことができました。

また現地での活動においては、現地の温かな方と関わることが楽しいです。

大船渡には海や山、星がいっぱいの夜空、美味しい特産物など、魅力は沢山ありますが、温かな現地の皆さんとの交流が、参加して良かったと思う活動の1つです。

YouTubeやInstagramで現地の魅力を発信する活動をしているので、どんな自分も温かく向かい入れてくれる大船渡に住む人の魅力についてもPRしていきたいと思っています。



電子回路ペン体験講座プロジェクト

子ども教育学科 4年 中村 佑梨奈

本プロジェクトでは、銀の入った特殊な「電子回路ペン」を使い、理科の魅力を伝える小学生対象の講座を実施します。相模原市印刷広告協同組合、神奈川県中小企業団体中央会の企業の方と共同で企画・運営しています。私はこの活動に参加して、コミュニケーション力を伸ばせました。特に、コロナ禍においてオンラインでのやり取りが増えたので、メンバーと密に連絡を取るなど気を配っています。さらに、会議の中で、文章の書き方や会議の進め方などを、企業の方に教えていただきました。また、子どもの楽しそうな反応にやりがいを感じます。1年生の時は対面でしたが、コロナ禍でオンライン講座を開催すると、画面越しに教える難しさを感じました。資料などで伝えるように工夫をすると、達成感でいっぱいの子どもの顔を見ることができました。子どもと接する時間を持てたこと、教えるために試行錯誤したことは、教員を目指す私にとって貴重な財産となりました。



丸山千枚田魅力発信プロジェクト

社会マネジメント学科 4年 松崎 有紗

「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」では三重県熊野市にある丸山千枚田という棚田の魅力を発信する活動をしています。現地では田植えや稲刈りをしたり、関東圏ではPR活動を行ったりしています。

私はこのプロジェクトに加入してこれまでに感じたことがない感情になりました。現地での活動では農作業の達成感を感じました。実際に稲刈りを通して想像以上の苦勞をしましたが、その苦勞を上回る楽しさや達成感があり、皆が自然と笑顔になっていました。あの達成感と笑顔は忘れない思い出となりました。また関東圏でのPR活動では、私の言葉を通して現地の情報や魅力がお客さんに伝わり、関心をもっていただけたことが嬉しかったです。

どの活動も実際に経験しなければ感じるができない感情になり、記憶に残るものになりました。と同時に多くの人との交流があり、人の温かさを感じました。社会人になっても積極的に人と関わり新しいことに恐れず、挑戦していきたいと思っています。



※学年は取材当時になります。

【国際プログラム】ビクトリア大学協定校留学



参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし(選考結果による)	半年 又は 1年間

活動フィールド	参加費の目安
ビクトリア (オーストラリア)	半年間:約160万円/1年間:約280万 (ホームステイ)

活動の到達目標
半年間又は1年間の留学を通して、英語で的確に意思疎通を図る能力を身につけることはもちろん、様々な国から集まった他国の学生と交流を深めることにより、異なる文化や価値観を知ることができます。また、海外で過ごすにあたって自身の暮らす日本という国や地域のことを改めて見つめ、伝統や文化、歴史等に対する理解を深めることに繋がります。

活動の概要
語学プログラムを半年間又は1年間履修します。週末のアクティビティ活動が盛んで、授業で学んだ語学を発揮する機会がたくさん設けられています。英語を学ぶために世界各国から学生が集まっており、様々なバックグラウンドを持った留学生との交流を深めることができます。募集説明会に必ず参加してください。欠席した場合は留学に申込みことは出来ません。

活動計画	
4・9月	募集説明会、出願
5・10月	選考、出発前ガイダンス(～8月)
6・11月	キャリア☆カフェ
9・4月	出発
翌年9・4月	帰国後ガイダンス／TOEIC IP受験

職員からのメッセージ
留学にチャレンジすることはとても勇気のいることですが、その分しっかりと留学へ向けた準備をして、現地で過ごす時間を有意義なものにしてください。特に、留学を経験している先輩学生からお話を聞くこともとても大切です。少しでも興味のある方は国際教育キャリア☆カフェなどに参加してみてくださいね。

【国際プログラム】マニトバ州立大学協定校留学



参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし(選考結果による)	1年間

活動フィールド	参加費の目安
ウィニペグ(カナダ)	約280万円(ホームステイ)

活動の到達目標
1年間の留学を通して、英語で的確に意思疎通を図る能力を身につけることはもちろん、様々な国から集まった他国の学生と交流を深めることにより、異なる文化や価値観を知ることができます。また、海外で過ごすにあたって自身の暮らす日本という国や地域のことを改めて見つめ、伝統や文化、歴史等に対する理解を深めることに繋がります。

活動の概要
語学プログラムを1年間履修します。平日午後や週末のアクティビティ活動が盛んで、授業で学んだ語学を発揮する機会がたくさん設けられています。英語を学ぶために世界各国から学生が集まっており、様々なバックグラウンドを持った留学生との交流を深めることができます。募集説明会に必ず参加してください。欠席した場合は留学に申込みことは出来ません。

活動計画	
4・9月	募集説明会、出願
5・10月	選考、出発前ガイダンス(～8月)
6・11月	キャリア☆カフェ
9・4月	出発
翌年9・4月	帰国後ガイダンス／TOEIC IP受験

職員からのメッセージ
留学にチャレンジすることはとても勇気のいることですが、その分しっかりと留学へ向けた準備をして、現地で過ごす1年間に有意義なものにしてください。特に、留学を経験している先輩学生からお話を聞くこともとても大切です。少しでも興味のある方は国際教育キャリア☆カフェなどに参加してみてくださいね。

【国際プログラム】文藻外語大学交換留学

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし(選考結果による)	半年間・1年間

活動フィールド	参加費の目安
高雄(台湾)	約10万円

活動の到達目標
半年間もしくは1年間の交換留学プログラムを通して、英語・中国語で的確に意思疎通を図る能力を身につけます。また、現地の学生との交流を通して、異なる文化に触れ、様々な価値観を知り、自分自身のことや自分の住む日本という国のことを見つめ直し、さらにその経験を次の活動に活かします。

活動の概要
台湾唯一の外語大学で、正規授業を英語もしくは中国語で履修するプログラムです。現地の学生だけでなく世界各国から留学生が集まっており、様々なバックグラウンドを持った学生との交流を深めることができます。募集説明会に必ず参加してください。欠席した場合は留学に申込みことは出来ません。



活動計画	
3月	募集説明会、出願
4月	出願
5月	選考、出発前ガイダンス(～8月、3月)
6月	キャリア☆カフェ
8月	出発
翌年1・7月	帰国後ガイダンス／TOEIC IP受験

職員からのメッセージ
プログラムに参加する際に大切なことは、なぜ留学をしたいのか、留学した後にどんなビジョンを描いているのか等、留学に対する目標をしっかりと設定し、プログラムに対して主体的に動くための原動力とすることです。現地でのプログラムをより充実させるためには、準備から丁寧に行うことが大切です。より良い留学となるように、がんばりましょう。

【国際プログラム】ビクトリア大学英語研修

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	10～15名程度	5週間

活動フィールド	参加費の目安
ビクトリア(オーストラリア)	約80万円

活動の到達目標
約5週間のプログラムの中で、英語の技能を身につけることはもちろん、異なる言語、文化や価値観を持つ人々と触れ合います。また、世界各国から集まる留学生との交流を通して、改めて日本の文化や伝統について考えるとともに、異なる国や地域の文化・伝統を尊重する姿勢を育みます。

活動の概要
春休み期間中に語学プログラムを5週間履修する語学研修です。週末のアクティビティ活動が盛んで、授業で学んだ語学を発揮する機会がたくさん設けられています。英語を学ぶために世界各国から学生が集まっており、様々なバックグラウンドを持った留学生との交流を深めることができます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画	
9月	募集説明会
10月	申込締め切り／制度説明会 出発前ガイダンス(～1月)
2月	出発
4月	帰国後ガイダンス

職員からのメッセージ
語学プログラム自体は5週間と短く感じるかもしれませんが、より良い研修期間とするためには半年～1年以上の準備が必要です。現地の生活の中で英語の技能だけではなく、人として成長できるように、万全な準備をして出発しましょう。アドバイザーもお手伝いします！

【国際プログラム】ソウル女子大学韓国語研修

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	10～15名程度	17日間

活動フィールド	参加費の目安
ソウル(韓国)	約30万円

活動の到達目標
韓国語だけではなく、異なる国(韓国)の文化や価値観などを実際に現地で過ごすことで実感し、日本とは異なる国や地域の文化を認め、尊重する姿勢を身につけます。また、語学の向上や異文化を理解することで自身の持つ価値観や生き方を考えるきっかけとします。

活動の概要
日本人大学生を対象とした特別プログラムで、韓国語と韓国文化をバランスよく学ぶことができます。現地学生とパディを組んで宿題を教わったり外出したりできるトウミ制度が人気です。滞在形式は学生寮です。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画	
4月	募集説明会
5月	申込締め切り／制度説明会 出発前ガイダンス(～8月)
8月	出発
10月	帰国後ガイダンス

職員からのメッセージ
17日間の研修ですが、研修を行うための準備には多くの時間を要します。準備を丁寧にするほど、現地での活動がより意味の深いものになるはずです。より良い研修期間となるように、アドバイザーも支援します。少しでも興味のある方は説明会へお越しください。

【国際プログラム】文藻外語大学中国語研修

参加対象	定員	活動期間
1～3年生・全学科	10～15名程度	2週間

活動フィールド	参加費の目安
高雄(台湾)	約27万円

活動の到達目標
中国語を学ぶだけではなく、現地の学生との交流を通して、新たな文化や価値観に触れることで自分の生き方や価値観を見つめ直し、次につなげます。文化体験授業や、日本語学科の現地学生との交流により、台湾の文化だけではなく日本の文化や伝統についても見つめ、互いの文化を尊重し合う姿勢を身につけます。

活動の概要
台湾唯一の外語大学で受講する2週間の中国語研修です。文化体験やチュータリング、日本語学科の学生との交流などを通して、中国語だけでなく台湾の伝統文化も学ぶことができます。滞在形式はホテルです。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画	
10月	募集説明会
11月	申込締め切り／制度説明会 出発前ガイダンス(～3月)
12月	キャリア☆カフェ
3月	出発
4月	帰国後ガイダンス

職員からのメッセージ
2週間という短い期間のプログラムです。滞在時には引率教員がつき、皆さんの現地での生活をサポートします。中国語を学ぶことはもちろん、文化体験や現地学生との交流を通して自分自身や日本について見つめ直し、今後の活動へとつなげましょう。

【外国語・英語教育】キャンパス留学

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし	半年間・1年間

活動フィールド	参加費の目安
学内	通期(春・秋):115,000円 1学期のみ:60,000円

活動の到達目標
半年または1年間を通して、毎日40分/週5日間、ネイティブ講師のレッスンを受けることにより英語の技能を身につけます。実践的な英会話のレッスンで、英語で的確に意思疎通を図る能力を身につけます。SDGsを英語でディスカッションする等、多様なプログラムにより英語を学ぶことができます。

活動の概要
この講座は授業の空き時間を利用して、キャンパス内で毎日40分/週5日(月～金)実践的な英会話のレッスンを行います。英会話が初心者という方もクラスは原則6名(一部時間帯を除く)のグループレッスンなので、楽しみながら続けられます。また英会話だけでなくアカデミックな内容(TOEIC®、Writing添削、ディスカッション等)を網羅しています。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画	
4・9月	募集説明会
5・10月	申込締め切り／受講費納入／受講開始
7・1月	春学期(7月)／秋学期(1月)講座終了

職員からのメッセージ
日本人コーディネーターによるきめ細やかなサポート(定期的な個別カウンセリング、年度途中からの受講について等)を受けることができます。少しでも興味のある方は説明会へぜひお越しください。

【外国語・英語教育】TOEIC® IPテスト

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし	年3回

活動フィールド	参加費の目安
学内	3,200円

活動の到達目標
この活動を通して、世界の人々との確に意思疎通を図る英語力を身につけます。

活動の概要
試験日は年間4回設定されます。試験日や申込期間については、SmileSagamiのお知らせ配信やポスターで周知されますので、そちらを確認の上お申し込みください。申込期間中にパピルスメイトに受験料を振り込み、申請用紙を生涯学修支援課に提出してください。



活動計画
※試験日や申込期間はお知らせ配信やポスターで確認してください。

職員からのメッセージ
TOEIC®公開テストよりも割安に受験することができます。就職活動や資格による単位認定のために受験することはもちろん、英語学習におけるモチベーション維持やレベルチェックとしても活用できます。会場が学内であることもTOEIC®IPテストの魅力の一つです。少しでも興味のある方は積極的に受験してください。

【異文化理解】CEMLAボランティア

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし	1年間

活動フィールド	参加費の目安
学内	なし

活動の到達目標
神奈川県内の中学・高校に通う「外国につながる子どもたち」の学習支援を行います。学習支援ボランティアには相模女子大学の学生だけではなく、他大学の学生や様々な年齢・職業の方が参加します。日本国内で私たちと一緒に生活を送る外国につながる子どもたちとコミュニケーションをとることで自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。

活動の概要
毎週土曜日に、相模女子大学内の茜館もしくはオンラインで開催されるCEMLAにて、学習支援ボランティアとして外国につながる子どもたちの日本語や教科指導を行います。年2回、外国につながる子どもたちや学習支援ボランティアとの交流会が開催され、ゲーム等を通して交流を深めることができます。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画	
5～7月	募集説明会、申込
5～7月	春学期講座
9～12月	秋学期講座

職員からのメッセージ
日本に国内で私たちと一緒に生活を送る外国につながる子どもたちとの交流を通して、日本の文化や歴史などについて改めて考え直したり自分の生き方や価値観を見つめ直すきっかけになるかもしれません。積極的に交流を図り、自分の糧にしてください。少しでも興味のある方は説明会へお越しください。

【異文化理解】外国人訪問学生・交換留学生サポーター

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	なし	適宜

活動フィールド	参加費の目安
学内外	未定 (活動内容による)

活動の到達目標
本学に滞在する外国人訪問学生や交換留学生を支援し、交流を深める活動です。各々が自身の得意分野を活かしつつ、他のサポーターと協力しながら活動を進めることにより、自分の視野を広げ、自身を見つめ直すきっかけとします。

活動の概要
サポーター学生を募り、本学に滞在する外国人学生や交換留学生を支援し、交流を深める活動です。同年代の外国人学生と交流を図ることにより、日本の伝統や文化、歴史等の理解を深めると共に、異なる国や地域の伝統や文化に対する理解を深めることを目的としています。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。



活動計画
※活動期間や申込期間はお知らせ配信やポスターで確認してください

職員からのメッセージ
日本語を母国語としない学生との交流活動ですが、サポーターとしての活動に外国語能力は求められていません。語学力も大切ですが、相手に伝えたいという気持ちや伝えるための工夫がサポーターとしての活動を成功に導くための秘訣となるでしょう。少しでも興味のある方は説明会へお越しください。

キャリア☆カフェ

活動の概要	職員からのメッセージ
多様なバックグラウンドや専門を持つ外部講師や地域の方、教職員が主催する講座・座談会です。 「チームビルディング講座」や「情報発信力アップ講座」「大人のマナー講座」など、多岐にわたる領域の講座を開講し、学生の皆さんの自己成長を育む取組みを支援しています。 キャリア☆カフェの開催に関する情報はSmileSagamiのお知らせ配信にてご確認ください。	多岐にわたるテーマ・内容で開催しているので、自分の学びたい領域に合わせて参加することが可能です。講座によっては、事前予約を要するものがありますので、SmileSagamiのお知らせ配信を確認した上で積極的にご参加ください。

●過去のキャリア☆カフェ一覧

講座名	参加対象	講師
「女子の人間関係がちょっとラクになる“おトク女子”(全6回シリーズ)」	全学年・全学科	外部講師
連携教育推進課×就職支援課 共同開催「活動の選び方のヒント」	全学年・全学科	連携教育推進課・就職支援課職員
「梅酒『翠想』やマーガレットケーキに用いる梅の収穫に関わる事前学習」	全学年・全学科	夢をかなえるセンター職員
「TOEICセミナー」	全学年・全学科	外部講師
「情報発信力アップ講座」	全学年・全学科	外部講師
「大人のマナー講座」	全学年・全学科	外部講師
小田急電鉄㈱で働く卒業生による「1歩踏み出してみよう！」	全学年・全学科	卒業生
「夢をかなえるセンター 連携教育推進課の職員ってどんな人!？」	全学年・全学科	連携教育推進課職員
「世界遺産検定とは？」	全学年・全学科	連携教育推進課職員
「チームビルディング～リーダー・副リーダー・フォロワーの役割とは～」	プロジェクト参加学生	外部講師

●2022年度に開講したキャリア☆カフェのチラシ(一部抜粋)

ユメカナ
「Sagamiチャレンジプログラム」キャリア☆カフェ講座

女子の人間関係が
ちょっとラクになる
“おトク女子”

【講師メッセージ】
あれやこれやと悩むよりオトクに華麗に人間関係を
切り抜けて参りましょう。
七夕のご縁を楽しみにしております。

講師 原 良恵
株式会社リンク

「この人と友達になりたい」「人付き合いが上手だな」と思う人は
いますか？
今回の講座では、さりげない気遣いが出来る人、トラブルにうまく対処
できる人など、人間関係を円滑にするためのコツを学びます。

〈日時〉7月7日(木) 13:00~14:30
〈対象〉全学科・全学年
〈開催形式〉Web会議ツール(zoom)

※添付の二次元コードよりご参加ください。
※パスワードはお知らせ配信よりご確認ください。

注意事項:
*Zoomの推奨環境:PC(推奨)・スマートフォン・タブレット。ご利用環境により通信料が発生する場合
がありますのでご注意ください。スマホ・タブレットで参加の場合はwi-fi環境での接続をおすすめします。
*参加に関する注意:アクセスURL・ミーティングID・パスワードは学外の方には知らせないでください。

夢をかなえるセンターでは、連携教育推進課「Sagamiチャレンジプログラム」により、
学生の主体的な成長やキャリア形成を支援しています。ご不明な点がございましたら、連携教育推進課までお問い合わせください。

●お問い合わせ先●
夢をかなえるセンター 連携教育推進課
MAIL:renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp 掲示期間:2022/7/7まで

ユメカナ
「Sagamiチャレンジプログラム」キャリア☆カフェ講座

元NHKアナウンサーが伝授!
傾聴力を高めて円滑な人間関係を
構築しよう

講師 畠山るみ

◆講師プロフィール◆
NHK山形放送局・千葉放送局で5年間キャスターを務める。
その後、結婚を機に料理講師に転身。
NHK文化センターでタイ料理講座を担当したのち、2011年から料
理教室「Lek Prik-kee-noo」を主催。また子育て経験より、
「チャイルドコーチング」のデブローマを取得。

【講師メッセージ】
円滑であればあるほど人生が豊かになりうるものの一つ、人間関係。
この良好な人間関係を築くため欠かさないのが「会話」です。
この会話について私が今まで実践してきたことや気づきなどをアナウ
ンサー時代の取材やインタビュー、その他料理教室やプライベートで
の様々な経験を交えてお話させていただけたらと思います。

■日時:7月14日(木) 13:00~14:30
■対象:全学科・全学年
■開催形式:Web会議ツール「Zoom」

※添付の二次元コードよりご参加ください。
※パスワードはお知らせ配信よりご確認ください。

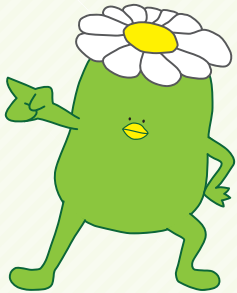
注意事項:
*Zoomの推奨環境:PC(推奨)・スマートフォン・タブレット。ご利用環境により通信料が発生する場合
がありますのでご注意ください。スマホ・タブレットで参加の場合はwi-fi環境での接続をおすすめします。
*参加に関する注意:アクセスURL・ミーティングID・パスワードは学外の方には知らせないでください。

夢をかなえるセンターでは、連携教育推進課「Sagamiチャレンジプログラム」により、
学生の主体的な成長やキャリア形成を支援しています。ご不明な点がございましたら、連携教育推進課までお問い合わせください。

●お問い合わせ先● 夢をかなえるセンター 連携教育推進課
MAIL:renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp 掲示期間:2022/7/14まで

ユメカナ★カフェ,しゃべり場

学生による学生のための
学びの「場」「空間」です。
参加者として出席するもよし、
主催者として企画・運営するもよし。
勇気をもって一歩踏み出してみよう!



活動の概要【3つの活動区分】		職員からのメッセージ
ユメカナ★カフェ	学生が主催する講座・座談会です(主に、既存の「Sagamiチャレンジプログラム」に係る講座・座談会を想定)。	連携教育推進課では、学生が主体的かつ能動的な活動をすることに重きを置いています。とはいえ、新しいことを始めるとき、ワクワクする気持ちと同時に不安や恐怖もあると思います。 私たち職員は、学生が安心して挑戦できるよう全力でバックアップしますので、ぜひチャレンジしてみてくださいね!
学生提案型企画	上記ユメカナ★カフェのうち、「Sagamiチャレンジプログラム」の枠組みにとらわれずに、自分の興味ある事や学びを、他学生と共有したいと考える学生が主催する講座・座談会です。	
しゃべり場	学生同士が学科や学年の枠組みを超え、ざっくばらんに互いの思いや悩みを共有する座談会です。	

●過去のユメカナ★カフェ、しゃべり場(一部抜粋)

	講座名	参加対象	講師
ユメカナ★カフェ	「電子回路ベン体験講座プロジェクト」学内体験会	全学年・全学科	電子回路ベン体験講座プロジェクト学生
ユメカナ★カフェ	各プロジェクトによるメンバー募集説明会	全学年・全学科	各プロジェクト学生
学生提案型企画	「素敵な本や仲間に出会おう ～学生生活を充実させたい人あつまれ～」	全学年・全学科	英語文化コミュニケーション学科学生
学生提案型企画	「教えてセンパイ! ～Sagamiチャレンジプログラムのすゝめ～」	全学年・全学科	管理栄養学科学生
しゃべり場	「Let's talk in English!」	全学年・全学科	学生有志団体「英語の勉強を頑張る会」
しゃべり場	「リーダー同士で繋がろう!」	各プロジェクトリーダー	連携教育推進課

ユメカナ★カフェを開催したい場合は?

4月に開催するプロジェクト対象の説明会にてプロジェクト活動に関するルール等について説明します。そちらの案内に沿って手続きを進めてください。

学生提案型企画・しゃべり場を開催したい場合は?

右記フォームより必要事項をご記入いただき、「送信」ボタンを押してください。
お申込みいただいた内容・情報を基に、実施に向けたアドバイスを提供します。



神奈川産学チャレンジプログラム

参加対象	定員	活動期間
大学2～4年生・全学科 (短大生除く)	各チーム4～6名 ※必ずチーム単位で応募 (個人単位不可)	9ヶ月
活動フィールド	参加費の目安	
神奈川県	－	



活動の到達目標
企業の課題を解決する研究コンペです。チームごとに研究テーマの選択から、課題に対する提案、検証、フィールドワークなどを行います。を通して、社会に積極的に関わり、自分自身の発想を深めます。また、プレゼンテーションも審査対象となり、自分たちの思いや考えを他の人に対して分かりやすく説明するため、産学チャレンジ参加者を対象としたキャリア☆カフェでその力を身につけ、実践します。

活動計画	
4月	説明会(～4月末エントリー)
5月	研究テーマ決定
6～9月	レポート作成
10～11月	プレゼンテーション審査
11月	審査結果通知
12月	表彰式

活動の概要
神奈川県内の大学と一般社団法人神奈川経済同友会の会員が所属する企業とが協同し、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究プログラムです。企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを挙げ、それに対して学生が各テーマにチャレンジし研究成果を提出するというもので、書類審査、プレゼンテーション等の審査は全て企業が行います。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

職員からのメッセージ
活動の中で、1つの企業と深く関わることができます。企業へのメールや電話、レポートの提出など、ぜひ就職活動の先取りをしてみてください。

「Sagamiチャレンジプログラム」for kids プロジェクト

参加対象	定員	活動期間
全学年・全学科	50名	8月
活動フィールド	参加費の目安	
学内	なし	



活動の到達目標
地域の小学生を対象とした夏の大学体験教室「Sagamiチャレンジプログラム for kids」の企画から運営までに関わってもらいます。この活動では、イベント主催のノウハウや、子ども・保護者と触れ合うことにより、人に対する対応力を学びます。また、参加対象は全学年・全学科の学生です。イベント成功という一つの目標に向かいながら学生同士の協働力を学びます。

活動計画	
4月	募集開始
5～7月	イベント開催に向けての企画
8月	イベント開催

活動の概要
「Sagamiチャレンジプログラム」における各プロジェクトの学生が中心となり、学部・学科の学びや地域連携など本学園の特色ある取り組みを活かした子ども向けの体験講座を開講します。イベント当日のみならず、企画の段階から関わってもらいます。子ども・保護者と積極的に関わり参加者へ楽しんでもらうためにはどうしたらよいか？"考えて・実行する"活動です。詳細は、募集説明会にて説明します。欠席した場合は、連携教育推進課までお問い合わせください。

職員からのメッセージ
企画・運営に“主体的に”に関わってくれる“意欲ある”方、また将来子どもと関わる職業などを考えている方には絶好の機会です。ほとんどの方が初心者なので、積極的にご応募ください。

よくある質問

興味はあるけど参加方法が分からない

「Sagamiチャレンジプログラム」の活動の多くは、参加希望者向けの募集説明会を事前に開催します。募集説明会の案内は、SmileSagamiのお知らせ配信より、件名に★ユメカナ★を付けて発信しています。気になる活動を見逃さないようこまめにチェックしてください。

なお、本冊子のシラバスには、応募説明会の時期を掲載していますが、あくまで目安となります。年度によっては活動時期の変更や、開催の見合わせを行うこともあります。詳細が気になる活動があれば、連携教育推進課までお問い合わせください。

参加する際にお金はかかりますか

活動によっては、費用が発生する場合があります。費用が発生する場合は、募集説明会で事前にお伝えします。

※「相模女子大学・相模女子大学短期大学部 後援会」地域連携助成費より、活動に係る費用の一部をご支援いただいております。

活動報告書とはなんですか

「Sagamiチャレンジプログラム」の参加者に対して、活動の振り返りを行うために提出してもらう書類になります。各活動によって書式が異なりますので、連携教育推進課からのお知らせを必ず確認するようにしてください。なお、活動報告書は就職活動のエントリーシート作成や面接等にも役立ちますので、提出した活動報告書は各自保管することを推奨しています。



相談する場所はどこですか

夢をかなえるセンター 連携教育推進課です。
窓口は、夢をかなえるセンター1Fです(食堂のある建物です)。

メールでのお問い合わせは renkei@mail2.sagami-wu.ac.jp

活動情報はどこから入手したらいいですか

●SmileSagamiお知らせ配信

「Sagamiチャレンジプログラム」の活動情報や募集説明会のお知らせを随時行っています。件名には、★[ユメ](#)★[カナ](#)★と付けて発信しています。シラバスには掲載されていない活動をお知らせすることもあるので、気になる活動情報を見落とさないよう、こまめに確認してください。

SmileSagami



●夢をかなえるセンター 特設サイト

活動をピックアップした記事や、プロジェクト学生からのお知らせ・活動情報の発信等を行っています。また、最新のシラバス情報も随時更新しています。

特設サイト



●各種SNS

活動の情報を発信しています。是非ご覧ください。

Twitter



ユーザー名:@sagajo_yumekana

Instagram



ユーザー名:@sagajo_yumekana

YouTube



ch名:相模女子大学 連携教育推進課



どのくらいの人に参加していますか

●2022年度「Sagamiチャレンジプログラム」活動実績

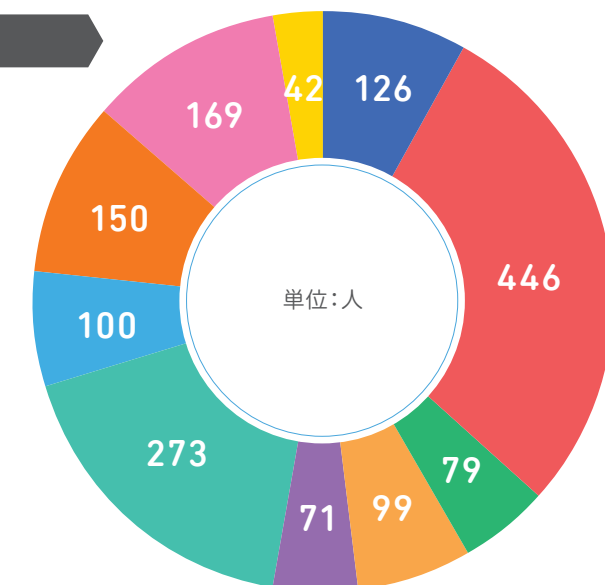
参加学生数

1,555人 (延べ人数)

(2023年2月2日時点)

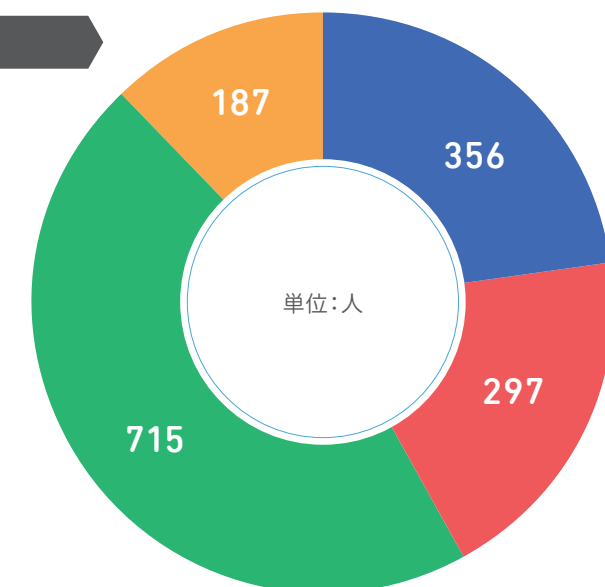
学科別

- 日文
- 英文
- 教育
- メディア
- デザイン
- 社会
- 心理
- 健康
- 管理
- 栄養



学年別

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生



「Sagamiチャレンジプログラム」は、学科・学年関係なく取り組むことができる活動が多くあります。初めは一人でも、活動に参加することで学科や学年を越えた出会いが待っています。興味のある活動には、積極的に参加してください!!

積極的に利用しよう！

夢をかなえるセンター 連携教育推進課前スペースをご紹介します！

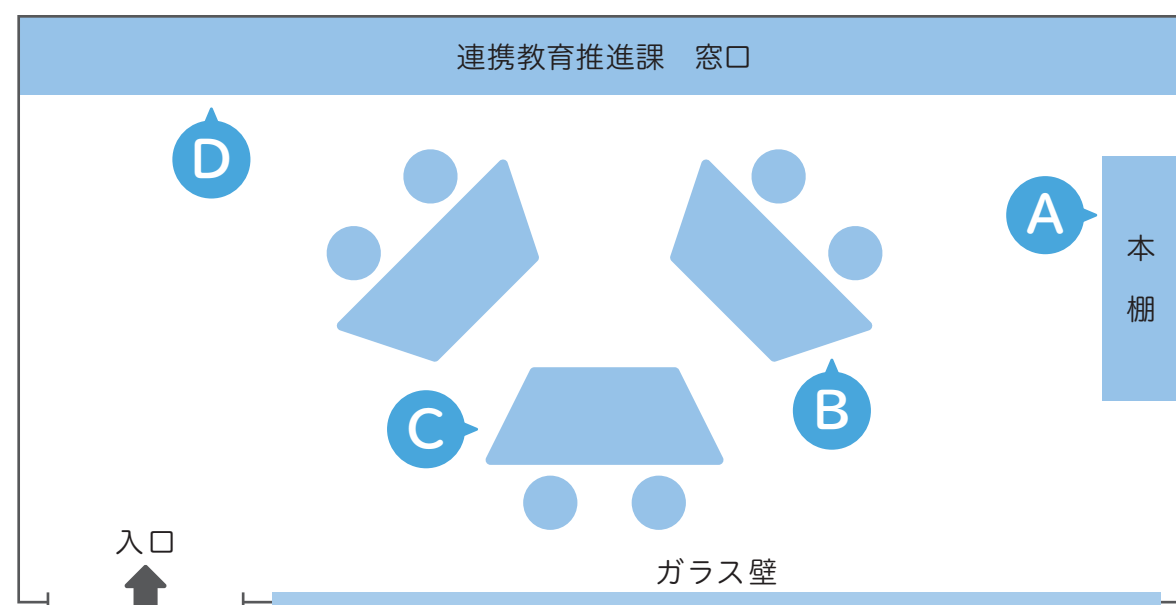
夢をかなえるセンター 連携教育推進課窓口前のスペースは、「Sagamiチャレンジプログラム」で活用できる“ラーニングcommons”となります。大きく2つの特徴がありますので、本冊子にてご紹介します。この機会に積極的にご利用ください。

ラーニングcommonsの特徴

- ①活動をサポートする施設設備
- ②活動情報の発信

①活動をサポートする施設設備

連携教育推進課前ラーニングcommons見取り図



A 書籍の貸出し

語学学習の際に参考になる外国語の書籍を貸出ししています。TOEIC教材や英字本、海外版の漫画等様々です。気になる本があれば、連携教育推進課職員までお声がけください。

実際に書籍を借りていた学生にインタビュー！

私は、ラーニングcommonsで主に洋書を借りていました。借りようと思ったきっかけは、英語のリーディングの力をつけたいと思ったからです。新しい単語に出会い、「あの場面でこの単語が使われてたなあ」と思い出すことができるので、他国の文化を知れたり、物語を楽しむことができるのもそうですが、記憶に残る英語学習にもつながっていると思います。短編のものが多くとても読みやすいです！また、ほとんどの本の裏表紙に英語のレベルが書かれているので、自分の英語力に合った本を選ぶことができます。みなさんも、ぜひ手に取ってみてください！



答えてくれたのは…卒業生アドバイザー(2021年度卒業) ▲

B iPad



地域や企業の方とオンラインで交流や打合せを行う際は、ラーニングcommonsに常置しているiPadを利用することが可能です。加えて、机や椅子が用意されています。机や椅子の移動は自由です。利用用途や仲間の人数などに応じて机や椅子を動かして、ミーティングを行ってください。

C ワイヤレス充電器

ラーニングcommonsでは、スマートフォンの充電をすることができます。スマートフォンを利用した情報収集をする際は、ご利用ください。
※充電器の利用中におけるスマートフォンの破損・盗難・紛失については、大学は責任を負いかねますので、充電中は傍を離れないよう注意してください。



D 連携教育推進課 窓口



連携教育推進課では、「Sagamiチャレンジプログラム」の活動をサポートしています。活動について聞きたいことがあれば、気軽に窓口の職員に相談してください。

②活動情報の発信

ラーニングcommonsでは、活動情報の発信も行っています。近日開催予定のキャリア☆カフェや募集を行っている活動の概要を示したポスター・チラシ等を掲示しています。また、シラバスには掲載していない活動や夢をかなえるセンター以外で主催している社会貢献活動の情報についてもお知らせしているので、気になる方は要チェックです。

※SmileSagamiのお知らせ配信や連携教育推進課各種公式SNSでも情報発信を行っています。

34ページ参照

